

久保田啓一 NHK放送技術研究所 所長

今年、NHK放送技術研究所（技研）は開所80年を迎えました。技研は、テレビ、カラー放送、ハイビジョン、衛星放送、デジタル放送など、放送の歴史の中で常に最先端の放送技術を開拓し、日本ならびに世界の放送の発展に向けて先導的な役割を担ってまいりました。

技研の役割は、今も昔も変わりません。直近の経営課題を解決するための短期的研究と、次の時代の新しいサービスを創造するための長期的研究の両面を進めることです。放送と通信の融合時代にも視聴者の方々に役に立つ、豊かな放送をお届けするために、人間の生理、デバイスからシステムまで幅広い研究開発を進め、新時代にふさわしい技術基盤を構築していくことが変わらない技研の役割だと考えています。

今年の「技研公開」のテーマは「技研80年 さらなる未来へ」でした。進化したスーパーハイビジョンや3-Screens時代の放送サービスの高度化技術、人にやさしい放送の実現に向けた技術など、実際の放送現場でも活用されている番組技術と併せ、最新の成果44項目をご覧いただきました。

この80年間、放送の将来を信じて、技研の先達が一步一步着実に研究の歩みを進めてきました。そのDNAを脈々と引き継いでいくことも私たちの使命と考えています。

平成22年7月